

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震以後に活動が高まった 秋田駒ヶ岳の地震活動(2011年3～4月)*

Seismicity at Akitakomagatake Volcano (March - April, 2011)

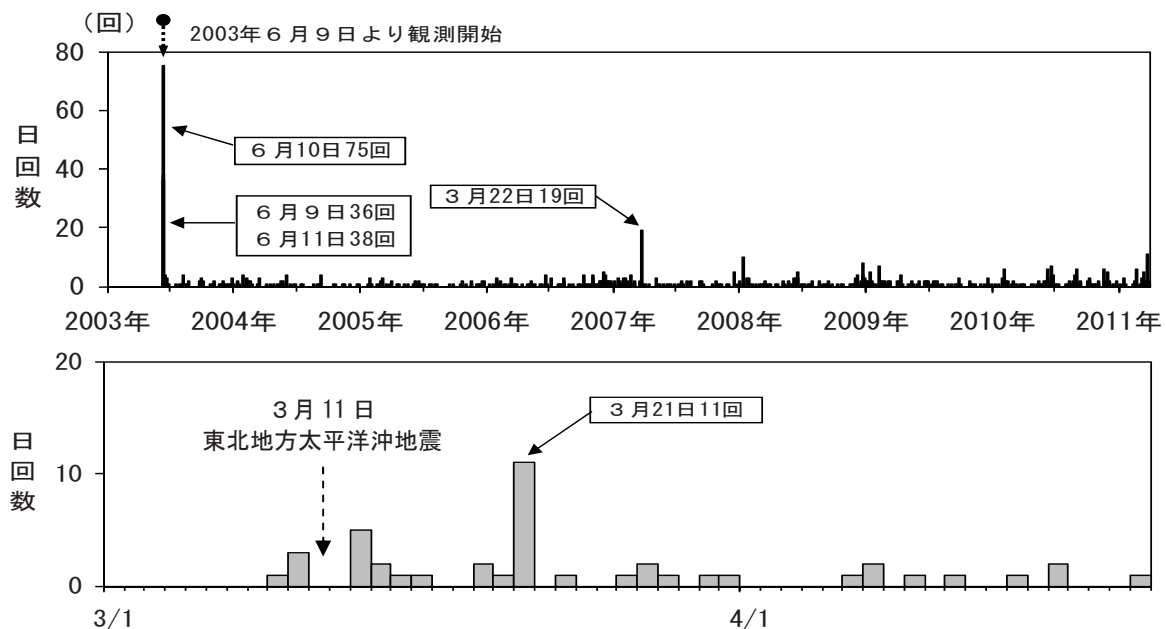
仙台管区気象台火山監視・情報センター
Volcanic Observations and Information Center,
Sendai District Meteorological Observatory, JMA

1. 概要

秋田駒ヶ岳では、3月11日に発生した「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の後、3月13日から規模の小さな地震が若干増加し、3月21日には、04時48分にマグニチュード(M)2.6の地震が発生し仙北市で震度1を観測するなど一時的にまとまった地震活動があった。その後、地震活動は低下した。この地震活動に伴い秋田駒ヶ岳では表面現象や地殻変動に変化は認められなかった。

2. 地震活動の経過

第1図に3月1日から4月20日までの日別地震回数を示す。3月11日の東北地方太平洋沖地震前は、1日0回から数回であったが、地震発生後3月13日から地震回数が若干増加し、3月21日には11回発生した。このうち、04時48分にはM2.6(広域ネットの震源による)の地震が発生し、仙北市田沢湖田沢および仙北市田沢湖生保内上清水で震度1を観測した。この地震は、山頂の北約3kmの場所で発生した。この場所は、2003年6月にまとまった地震活動があった領域である(第2図)。3月22日以降山頂の北約3km付近の地震活動は収まり、ほぼ東北地方太平洋沖地震前の状態となった。



第1図※ 秋田駒ヶ岳日別地震回数

上図: 2003年6月～2011年4月20日 下段: 2011年3月1日～4月20日

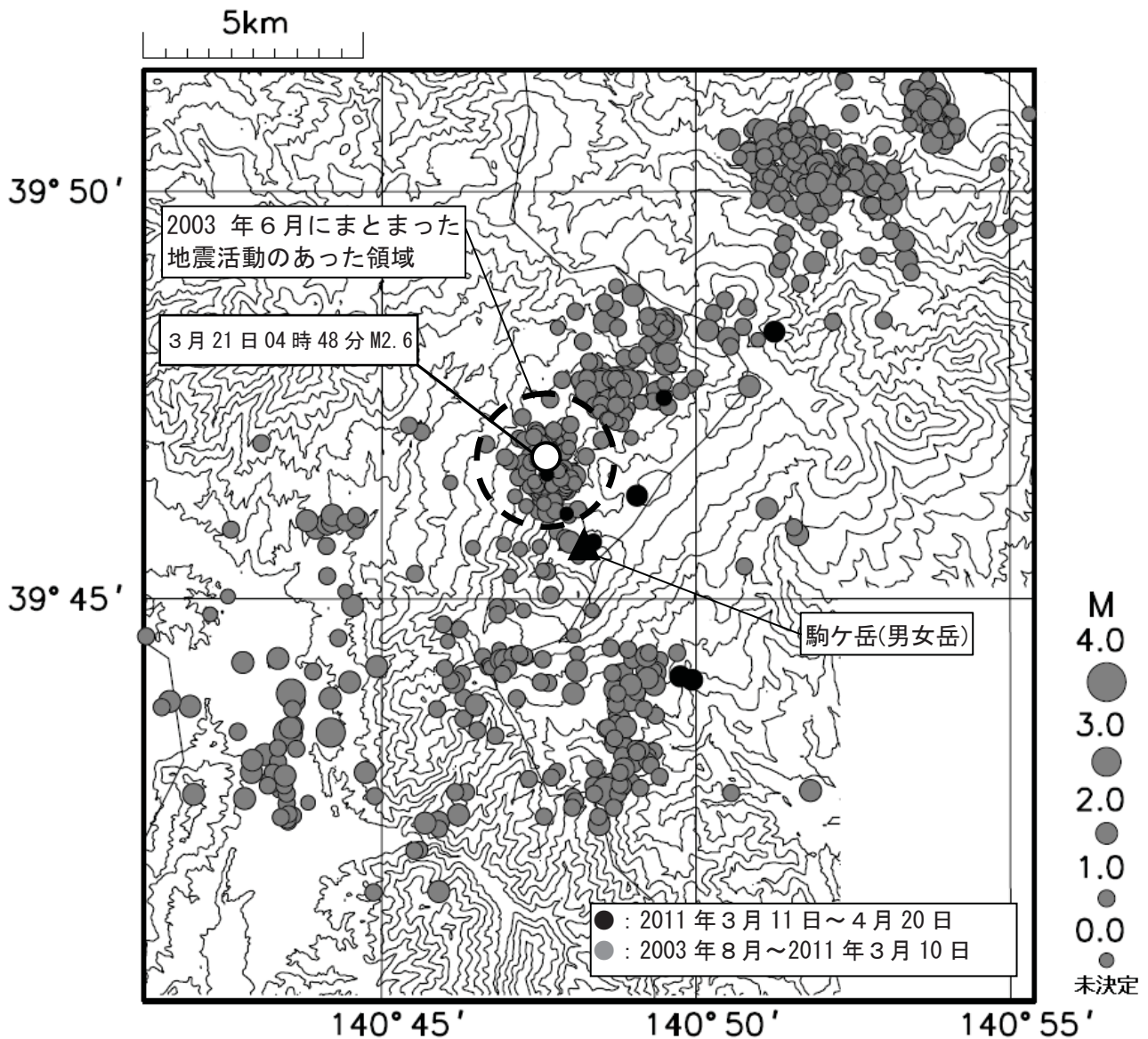
秋田駒ヶ岳(東北大)の地震計による。

3月11～12日は機器障害により一部欠測の期間がある。

Fig.1 Daily numbers of earthquakes (June, 2003 – April 20, 2011).

※この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局及び東北大学のデータを利用して作成した。

*2011年5月9日受付



第 2 図※ 秋田駒ヶ岳の地震活動（2003 年 8 月～2011 年 4 月 20 日）

速度構造：成層構造を使用。震源精度の良い地震だけを表示。

2003 年 8 月より東北大学の地震計データを使用している。

2005 年 5 月より国土交通省東北地方整備局の地震計データを使用している。

図中の黒の点線で囲まれた範囲は、2003 年 6 月の活動範囲を示す。

図中の○は広域ネットの震源である。

この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用した。

Fig.2 Hypocenter distribution at Akitakomagatake volcano (August, 2003 – April 20, 2011).